



令和3年9月30日

中央区立月島第一幼稚園

たんぼぼ組担任 村木 万佑子

ひまわり組担任 堀江 千春

2学期が始まり、子どもたちの元気な声が幼稚園に戻ってきました。今年度もコロナ禍での夏休みとなりましたが、家族と楽しい時間を過ごせたことが、子どもたちの話や夏休みカレンダー、「夏休みに楽しかったこと・頑張ったこと」のお手紙から伝わってきました。ご協力ありがとうございました。

おいしいぶどうがたくさんできたよ♪

秋も深まり、ぶどうがおいしい季節になってきました。たんぼぼ組、ひまわり組の保育室にもぶどう畑ができ、美味しそうなおぶどうがたくさん実っています。

細長く切った紙を丸めてホチキス留めし、それをいくつも繋げてぶどうの形を作っていきます。1学期に行ったアジサイ作りでは、教師と一緒に手を添えることで、力の入れ方が分かる姿が見られました。今回のぶどう作りでは「もうできるよ!」と自信満々で取り組んだり、何度も繰り返し行ううちに「できるようになった!」と嬉しそう喜んだりする様子が見られました。丸をたくさん繋げて長いぶどうを作ったり、何種類もぶどうを作ったりと、繰り返し楽しむ姿がありました。



できあがったぶどうで
ぶどう狩りを楽しんでいます♪

おじいちゃん、おばあちゃん いつもありがとう!

敬老の日について話をすると、「大好き!」「いっぱい遊んでくれる!」とみんながおじいちゃん、おばあちゃんのことを大好きな気持ちが伝わってきました。そこで、「いつもありがとう!」「元気でね」の気持ちが伝わるように、はがきにスタンプで模様をつけてプレゼントを作ることにしました。今回は、ブロックやペンのふた、育てたピーマンなどに絵の具をつけてスタンプにし、花や蝶、電車などの模様を作りました。「丸い形をたくさん押ししたらお花になった!」「ピーマンでちょうちょうの羽ができた!」といういろいろな素材や形を組み合わせて模様ができたことを喜んでいる姿が見られました。また、おじいちゃん、おばあちゃんへのメッセージも一人一人に聞き取りました。はがきが完成すると、「いつ届かな?」「おじいちゃん、おばあちゃん喜んでくれるかな?」とはがきを送ることを楽しみにしている姿が見られ、一人一人がおじいちゃん、おばあちゃんに心を込めて作ったことが感じられ、うれしく思いました。



年長組さんにハガキの投函を
お願いしにいきました!

「こんなのできたよ!」
「電車みたいでしょ!」
と自分がつくったものを嬉しそうに見せにくる様子がたくさんありました!



～ひまわりだよ！～



みんな大喜び！

年少組のときから使っていたなと思っていた大型シャベル。2学期になって、初めて使って遊ぶことができました！使えることを伝えたときには、「やったー！！」と大喜びでした。楽しく遊べるように、みんなで使い方を確認しましたが、「お友達にぶつからないように使う」「砂がかからないようにする」など子どもたちからも使うときに気をつけることを話す姿が見られました。

初めて大型シャベルを使った日は、グループに分かれてそれぞれ山を作りました。「ここにも砂をかけよう」「たたいて固めるといいんじゃない？」などと話しながら友達と大きな山を作るために力を合わせていました。使うときの約束や大きな山を作るためにどうするといったかなど、いろいろなことを自分たちで考えることができるようになってきている様子に成長を感じ、うれしく思いました。



積み木大好き！

6月から使って遊んでいる中型積み木は、子どもたちに大人気の遊具です。夏休みが明けて、友達と積み木で遊ぶことを楽しみにしていたようで、「積み木で遊ぼう！」と友達と言いあって、遊ぶ姿が見られています。最近では、飛行機や図書館などを本物の形になるように友達と一緒に作るようになってきて、「いいこと思いついた！」「こうしたらいいんじゃない？」と友達に提案したり、「いいね」と友達の思いを受け入れたりしながら、遊ぶ姿が少しずつ見られるようになってきました。まだまだイメージがつかない部分があり、悲しい思いや悔しい思いをすることもありますが、一人一人の思いを受け止めながら、自分の思いを言葉で友達に伝えることができるように必要な言葉を知らせたり、一緒に伝えたりして、友達とイメージがつながるうれしさを感じることができるようにしていきたいと思います。

～図書館ごっこ～

図書館を作って、本の貸し借りを楽しんだり、本物の図書館のようにブックポスト作ったりしています。

～飛行機ごっこ～

操縦士やお客さんになりきってやりとりを楽しんでいます。



友達が作った場所とぶつからないように自分たちの遊びの場所を作ることができるようになってきました。

